

岩手高等学校物語



一 大正15年=昭和元年(1926年)、盛岡の事業家、三田義正(みたよしまさ)によって、旧制岩手中学校が創立されました。当時の中学校は5年制でした。本校の関係者は親しみをこめて、この岩手中学校創立者三田義正を義正翁(ぎせいおう=ぎせいおじいさん)と呼んでいます。

義正翁はなぜ私財をなげうってまで、中学校を創ろうとしたのでしょうか。それは当時の若者のゆるんだ考えや緊張感を欠いた行動を憂え、岩手の地から社会に役立つ人材を送りだそうと考えたからです。



二 昭和4年には岩手山頂上に記念碑を建てました。山頂から約300m下に作業場をつくり、石工が大きな花崗岩を碑に仕立て上げ、できあがった石碑を頂上まで3・4年生の生徒100名が引っ張り上げたと伝えられています。

その途中、登山道周辺にあった大きな岩をできるだけ砕いていったそうです。なぜでしょうか。

- (A) 石碑を引っ張り上げるのに邪魔だったため
- (B) 他の登山者が楽に登れるようにするため
- (C) 他の学校に同じような石碑を作らせないため



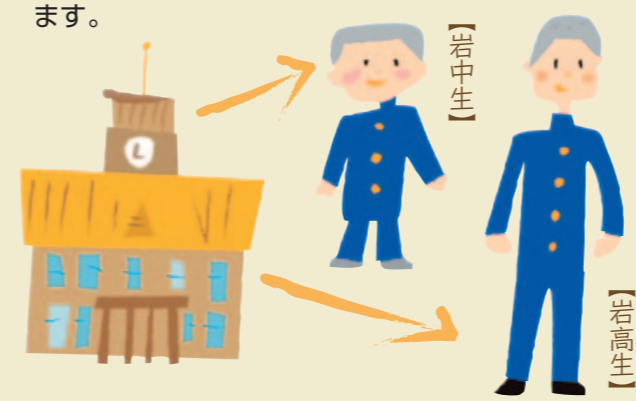
★答えはB(シレット)のどこかにあるよ!

三 こうして、岩手中学校は順調に発展を遂げ、優秀な卒業生が士官学校、兵学校、旧制高等学校、医学専門学校、高等師範学校、大学予科などへ進学していきます。



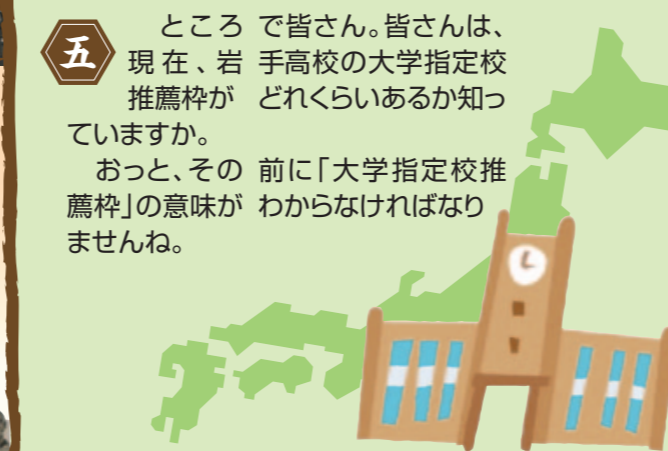
四 昭和20年太平洋戦争が終わり、我が国の社会の大きな変革がありました。旧制岩手中学校も新制岩手中学校に衣替えをしました。

また、新設の高校がどんどん設立されていきます。



五 ところで皆さん、皆さんは、現在、岩手高校の大学指定校推薦枠がどれくらいあるか知っていますか。

おっと、その前に「大学指定校推薦枠」の意味がわからなければなりませんね。



六 「大学指定校推薦枠」とは、各大学が日本全国、数ある高校の中から、特定の高校だけを指定して「あなたの高校ならば入学試験を課しません。どうぞ入学して下さい」と言っている、ということなのです。

「岩手県盛岡市にある岩手高校の生徒であれば、本大学では〇人以上の生徒を校長先生の推薦す」ということなのです。それが全国80大学以上から200人以上の分、岩手高校にはあります。



ぜひ、来てほしい!!

七 前にも触れたように、戦後、特に昭和20年代~50年代にかけて、たくさんの高校が県内に設立されたのに、なぜ、岩手高校だけにこんなにたくさんの指定校推薦枠があるのでしょうか。

それは、創立以来の岩手中学校、岩手高校の在校生が、一生懸命勉強して全国の大学を受験して合格し、それぞれの大学でも優秀な成績を収め、立派な社会人として活躍する、ということをして80年以上もずっと続けてきたからなのです。



八 各大学はこう思ったでしょう。「岩手県盛岡市の岩手高校からは、去年も一昨年も、今年も難関を突破してこの大学に入学者がきている。皆まじめで、優秀な生徒ばかりだ。この学校は信用がおける。岩手高校はまちがいがいい。よし、それなら入学試験を免除してもこの高校から学生が欲しい!」と。

こうした信用を岩手高校は、今や全国80大学以上からいただいているのです。この指定校推薦制で大学に合格した卒業生は先輩の努力と学校の信用のたまものなのです。



歴史がちがうよ!

だから... 岩手高校が望む生徒は

- ◎ 卒業後の進路目標に向かって地道に努力する生徒
- ◎ 学校生活で与えられた自分の役割を果たそうと努力する生徒
- ◎ 基本的な生活習慣が確立し、欠席・遅刻・早退等が少ない生徒
- ◎ 明日のための努力を惜しまない生徒